

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業用紙・Web活動企画！ (URL) <http://becor.yokohamaturuminet>

富里乃堰で爆釣をかましたという江成。

しかも、ウドンセット！

このままの勢いでバリバスカップに突入か!?

…と思いきや、

申し込みでかましてくれたらしい。

おんどりゃああああああ！(怒)

by里ちゃん

もう書かないって言いながら、今月も会社の愚痴から始まるあたり、釣りのネタが薄いというのはバレバシだが、マジで最近の僕はテンパっている。「上司の心得」系の教則本な

はリーマンである。多分、提出期限は明日だ。昨日まででした…大至急お願いします…とか、そんなのばっか。そういう時ばかり低姿勢にならなくてもいいのよん。…でも、僕はリーマンである。

どまるで読んだこともない僕にでも分かるような、管理者として、部下に対してきつと絶対をやつてはならないミスをしてしまったからだ。自分が蒔いた種ながら、どうやったら收拾がつかのか見当もつかないほど参っている。

文京区の事件ほど追い込まれてはいないが、僕はいま、激ブルーだ。えなり「せんいち」はデカグリーンだけだ。*

「里ちゃん註：原文ママ：読者の皆さん、意味わかります？」

書くのは初めてかもしれないが、実は僕の店には、別の事業部も同居している。

会長・店長・家長に異常

ただし、そっちの管理者は不在というか常駐していないというか、放置？というか…仕方なく僕が面倒を見るケースがあったり、でも遠慮もあつたりで、とても曖昧な状況だった。ただ、仕事上で全く絡みが無いわけではないので、どうせなら僕がきちんと仕切りたいという個人的な思いもあつた。その方が無駄がないからだ。

今日から一週間の僕の仕事のスケジュールはハンパじゃない。休みは一回ある予定だが、返上必至。なんてつたつたつ、いまだかつて経験したことない質と量の宿題を投げられているのだ。期が変わって新設された課も多く、支社も本社も張り切っちゃっているのは分かるが、データを取られる末端の悲鳴も想像しろよ…。ていうか何でアナログなのが意味不明。全てオートマチックに落とせるようなものなんだと思うが、現場に数字を用意させることが、自分の店の現状把握に繋がるとでも考えているんだろうか。だが、心配無用。きつと提出率ひとケタだからサ。…さらに、支社は支社で、本社からの怒濤の攻撃に混乱しているようで、末端に到達が降りてくるまでにとんでもなく時間がかかってしまっているものが多い。「めんなさい、提出期限は明日だ。昨日まででした…大至急お願いします…」とか、そんなのばっか。そういう時ばかり低姿勢にならなくてもいいのよん。…でも、僕はリーマンである。

テンパイ、僕リー。

<Vol.72>

無理!

新緑の候、貴方様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
平素は、弊社製品に格別なるご愛顧を賜りまして真に有難うございます。
さて、この度お申し込みいただきました。2008 VARIVAS CUP へら
トーナメントは大変申し訳ございませんが4月15日を持ちまして定員オ
ーバーとなりました。貴方様には、残念ながら不参加となりましたことを
お詫び申し上げます。つきましては、お送りした
今日(4月17日)「へら鮎」の編集スケジュール
的には、とくに締め切りと呼べる頃だ
が、入稿遅延ワースト3(里ちゃん註：ぶっち
ざりワースト1です)に数えられる僕にとつ
ては、里ちゃんが印刷所へ持って行くまでには
まだあと一週間も猶予がある。なのに、僕が
こんなに焦っているのはこの連載始まって以
来だと思ふ。

ったのだ。責任意識の極めて希薄なパートや外部戦力に頼らざるを得ない現実の前では、誰も手出し出来ない聖域だったのかもしれない。

別部署とはいえ同居で、共通の利益を追求する筈の一つの企業に属しながら、見て見ぬフリをしてきた会社側。そして、僕の突然の本格的な介入。当然ながら猛反発をくらった。

リーダー格は60代のお局様だ。

「アタシ達が何をしたらって言うんですかー！」
「一生懸命やってきたのに評価してくれないんですね！」

たまに実家に帰ると自分の母親と会話が噛み合わないことがあるから、オバチャン達に正論をふりかざしても通じないと感じた僕は、我慢して低姿勢に出たつもりだった。

「仕事を評価してないわけじゃないでしょう？ たとはシフトだったら、日々、穴を自分達で埋めあってくれていたことは知っていますよ。ただ、シフトってそういうものじゃないからね。穴をどう埋めるかっていうのは本来皆さんが判断すべきことではなくて、管理者の仕事だし、行き当たりばったりじゃ困るから、もう少し計画的にやりましょうよ……」

「何で今までのやり方を変える必要があるんですかっ！」

僕の言葉を遮った、立場も何も考えない恐いもの知らずのその怒声が、完全に僕のスイッチを入れてしまった。

「…あのさあ、コノ、会社だからサア。分かってんの。」

最初から僕は、大きなミスをしてた。僕はどちらかと言えばコストカッターではない。

「売り上げ伸ばせばいいじゃん♡」な、お気楽イケイケ拡大路線である。悪く言えばドソブリ。とくに人事に関しては、上からギヤ

ンギヤン言われても、せっかく出会えた奇跡を大事にしたいと常に考えているようなアマちゃんだ。だから、コストに見合う仕事を作ってきたつもり。これは労組に長く携わってきたことが大きく影響しているのは間違いないが、誰からも嫌われたくない八方美人な性格のせいもあるかもしれない。

しかし、管理者は嫌われてナンボ。いつかは切り江成と呼ばれる日が来ることも、覚悟はしていた。本意ではないが、どうしても思い通りに動いてくれないのなら、ツカえる新人を投入するしかない。とはいえ僕の計算では、あと数名のパートを投入して適正人員と判断したから、即・入れ替えにはならない筈だった。ところが、そういうところだけでは異常に敏感なのが女性である。しかし、多少のプレッシャーは感じてくれてもいいだろう、そう思っていた。

「たかがパート」の面接で、業務内容よりも仕事に対する心構えを優先させて説明した僕に、ドン引きする主婦が続出。当たり前である。しかし、たった一名だけ、僕の厳しい(くどい)面接をぐくり抜けた方がいた。ウチで以前働いていた経験があるとのこと、予備知識は無問題。年中無休の会社であることも理解した上での応募。主婦なので時間の制約があるのは既存のメンバーと何ら変わらないが、それでも僕の改革のキーマンになるだろうことは想像出来た。

僕が年明けに投入したたった一名のその新人は、「そこまで責任感じゃなくいいの」と、こちらが心配するほど真面目で、仕事も速い。実質的に、二名分の働きである。これは嬉しい誤算だった。が、既存のメンバーへ与えたプレッシャーも倍増していることを、忙しさの中で僕は見落としてしまっていた。

つい先日。新人も順調に育ち、完全に回し

始める時が来た判断、もう一度僕の構想を周知徹底させようとしてレジユメを配布した翌日のことだった。

「えこひいきはやめて下さいー！」

頭をハンマーでぶっ叩かれたような気がした。

青天の霹靂とはまさにこのことで、とっさに言葉が出なかったが、これがマズかった。その後、すぐ否定したが、冷静に振り返るとやっぱり事実かも、と感じる部分もある。

もちろん何とか融通きかせて週末も出勤してくれることや、実務面でも有能な部下はかわいというだけの話であって、新人に対して個人的な特別な感情は有り得ない。ただそれが、無意識に僕の態度に表れていたのだとすれば、ここ数カ月間の行動を反省しなければならぬ。管理者として、部下には常に公平に接しなければならぬという大前提の意識が希薄過ぎたことになるからだ。

でも手遅れかもしれない。対象の部下は異性であり、混乱が起きている組織は女の園。期待の新人も、「妙な話は迷惑です」と、辞めそうな勢いだ。「おいおい、冗談じゃないよ。オレは妻子持ちだぜ」と言いたいのをグツと堪え、説得しようとして近付けば、お局様の眼がキラリと光る。マンガみたいな最悪の展開に、かなり凹んだ。…店長失格、かな。

実際のところ、膨大な資料の山を前にして、人間関係に悩む時間もあんまりないのが現実で、

「おとうさんはなんでかえってこないの？」

…本当の問題はこっちだろう。

つか、頭カユいぞ。シャワー室新設許可してくれ。

新作!! 慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初の美しいブラックボディで登場!

【底釣りスタイル】

杉山作

繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。
●ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用
●タイシン製ホワイトトップ(内径1mmパイプ)採用。軽量かつ視認性大幅UP!
●サイズ:一番(T110cm B9cm カーボン足4.3cm)～六番(T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm)
ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現!
●定価1本7,350円(税込)

取り扱い店〈五十音順〉
埼玉・越谷 かわせみ (☎048・969・5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (☎0296・44・1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (☎03・3499・5025)
埼玉・入間 へらの三水 (☎042・964・2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (☎0285・72・2215) 神奈川・川崎 謝仙人 (☎044・287・7470)
東京・吉祥寺 丸勝 (☎0422・22・8923) 東京・青梅 吉川釣具店 (☎0428・22・2467)

がまんこ「春の珍事」。

会長としての異常はここから。

4月6日に富里乃堰で行われたナリーズ4月例会で、僕が優勝してしまったのだ！

出だしから快調で、2フラシ目におかわりした時には、周りから「春の珍事」と冷やかされた。出だしは釣れても、失速するのが僕の常なので、この日も意識していなかったが、3フラシ目も一番乗りだった時点で、ちょっと意識した。日中2時間ほどボケ切ったが、自力脱出できたのが逃げ切れた理由だと思う。内輪の小さなクラブであっても、やっぱり優勝は嬉しいものだ。何年ぶりだろう。

朝の会長挨拶は、優勝宣言だった。当然ながらスペシャルゲストの天笠氏や、マルキューフィールドテスターであり富里愛好会にも所属するナリーズ会員の綿貫正義指導員を前にして、本気で優勝出来るとは思ってもいなかった。前回の例会がブービーに終わったこと、終了後の宴会でベロンベロンになってしまった反省から、今月は心を入れ替えて集中して釣りをしますの意味合いのつもりだった。ただ、前回例会終了後に副会長から、

「会長の釣行回数の少なさは理解したいものの、ブービーはいかがなものか。月イチでも会長より釣る人は知っているし、理論で釣ると言っているなら、たまには証明してみたい」と…と言われていたのが引掛かっていたのも事実で、クラブ運営に粉骨砕身の副会長や幹事長の気持ちを考えれば、ダラダラしているわけにもいかない。新入会員のモチベーションも考えると、このままではいけないという気持ちは、言われなくたって常にあるのだ。でも、万年準備不足の僕は、つい無難な底

釣りに逃げてしまいがちだ。当日もクジ引きで決まった席に座るまで、底釣りをやろうと考えていた。実際、「春は底釣り」がセオリーであるし、前情報でもじゅうぶんに勝負になる釣り方であった。だが、セオリーで言われるところの「春の底」は、ただ地ベタにエサをつけておけばいいという意味ではない。本来は野釣りで使われるべき用語であって、産卵期のへらの行動パターンを踏まえた上で、水深、地形、卵を産みつけるべき水草やゴミなどの障害物の有無等、諸条件を全て備えたピンポイントの筈だ。今回の富里では、底釣りは「ない釣り」ではなかったものの、これから始まるトーナメントシーズンを考えれば、一日を通して浅いタナをセットで打つのが、一応は「復活」を目前に会長の姿勢として正しいと判断した僕は、惨敗覚悟で10尺を継いだ。

準備を終えると諦めの気持ちは完全に消えた。前回釣行（3月例会）で石井昇一氏から学んだ感覚を実践してみるというテーマも浮かび、とことんへらと勝負してやろうという闘志が漲ってくる。僕はやはり釣りキチである。

いざ優勝してしまうと、いささか問題がある気がする。

「フロが存在する世界では、アマチュアは絶対にフロには勝てない。圧倒的な技術の差があるからこそ、フロの存在価値があるのだ。釣りは、その辺が曖昧だからフロは成立しない」という意見がある。ヒギナーズラックが起ころうから、競技性に問題があるということだ。以前もこういう話を書いた気がするが、そのときは、「一日勝負ならフロックは有り得ない僕は考えている」と、結んだように気がする…困った。ま、夢があってもいいじゃない？というところにしておこう。

優勝は僕のモチベーションを間違いなく上

げた。いったん終わりにしたいと先月号で書いたが、もしかすると自力で最終回を迎えることが可能かもしれないという色気が出てくるものだ。

例年、メジャートーナメントシーズンの口火を切るバリバスカップ予選。先月号では僕も参加予定と表明したものの、その後に部下の研修があることが発覚。僕はどうしても出勤せざるを得なくなり、出場出来ない筈だった。いくらやりたい放題の僕でも、上からのスケジュールは動かせない。ところが、日程変更の通達。急いで現金書留を送った。

二日後、やはり現金書留で、参加費は戻って来てしまった。一日遅かったのだ。人生、山あり谷あり。ふと、そんな言葉が頭をよぎった。

どう転んでもバリバスカップに繋げることが出来ない運命だった、例会優勝後の僕のテション。残酷な結果が出ようがないわけだから、「出る意志はあったものの、出られなかった」証拠という意味では、返金というオチは、最高に格好が付いたことにもなる。もっとも今さらどうスツコケようが、僕にはプライドもへったくれもないので、関係ないと言えは関係ない。では、今回の優勝にはどんな意味があったのだろうか。それとも意味なんかないのか。…あるとすれば、「たまにはいいことなきゃ、やっつらんないっしょ♡」という見えざる何者かの思し召しであり、たまのいいことの後には、とんでもないトラブルが待っているという警告でもあり…あ、思いついた。優勝賞金で家族と回転寿司に行っただけ。

僕に例会優勝のチャンスを与えてくれた副会長。だが、最近はおちつぷり別のごにもご執心の様子。でも、いいんじゃないかな。釣りは趣味なんだし。それぞれの道、それぞれの姿勢、それぞれの温度があつていい。」釣

営業時間 (10月~3月) 平日 午前7時~午後4時 日・祝日 午前6時30分~午後4時
(4月~9月) 平日 午前6時30分~午後4時30分 日・祝日 午前6時~午後4時30分
定休日 毎週火曜日(祭日の場合 翌日休業) ※第4火曜日と水曜日は連休
料金 1日/2,500円 半日/2,000円

規定 自由釣り池(2面)は、タナはウキ止めからオモリまで1m以上 **使用竿** 竿8~15尺 **水深** 3.5m

※ジャンボ室内鯉釣り、金魚釣りも楽しめます。

有限会社 中の島センター

埼玉県川口市藤兵衛新田254 ☎048-295-5194 (夜間296-7654)

赤いリボン賞 2,500円



釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに！

取扱店：柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店：

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

鮒仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

<http://www.office27.com>
E-mail:info@office27.com

会長！快調(さむっ)なのに、なんでそんなに怒ってるんすか？…というのは冗談で、江成の気合の入った表情を久々に見た。フレームにウキが収まっているのも久しぶり



会長であり店長でもあり、そして、パパ…。ギラギラしていたあの頃の江成も懐かしいが、歳とったイマの江成もなかなかイイ感じ…なーんて年下の里が言うのもなんですけどね。右は、「今、ナリーズでもっとも熱い男」倉持昌貴。V6岡田君似の甘いマスクで、寄ったへらすべてをノックアウト…とはいかないようだが、研究熱心な性格で、近い将来トーナメントシーンに躍り出るのは間違いないだろう



「仲間」ではなく、「友達」としてつきあっていけるようなコミュニティに、僕はナリーズを育てていきたいと考えている。今までの話し合いの中で、「ただの仲良しクラブはダレるだけ」という意見もあったし、事実そういうクラブも僕は見てきた。さんざん話し合って決めた、ガチンコの月例会開催という現在のスタイル。だがしかし、やはり人間関係とテーマは別だ。仲がいいから手を抜くか？ 仲がいいからぶさけるか？ そんなことはない。少なくとも僕は、お喋りこそすれ、頭痛がするほどウキに夢中になれるタイプだ。クラブの方向性を完全競技志向に振ると皆で決めたなら、熱い年間レースは約束されたようなものだ。ダレるクラブは、テーマが曖昧なだけだろう。

諸事情により釣りへの気持ちが変わった時、「ナリーズがあるから、続けられた」と感じてもらえるようなクラブにしていきたい。なぜなら僕自身も正直言って、ナリーズのみんながいるから、読者の皆さんがいるから、今月も釣りをさせていただいていると感ずることがあるから…。どうしようもないバカだけど、僕だって人間。いつもいつもハイテンションではいられないですよ。



何年ぶりの優勝？
慣れない「優勝者の釣り方発表」前に、喜びと照れを隠せない江成

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

No.510
Jun.2008

6



へら鮎

九隻
鮎

Monthly fishing magazine herabuna

燃える 巨鮎魂 2008

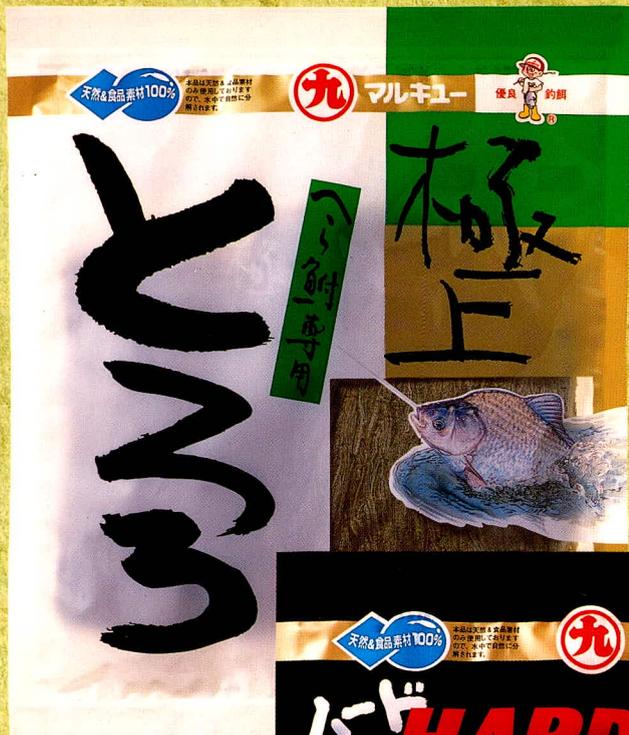
今年は、どうなんだ？



雑誌「へら鮎」は毎月1回発行。発行所：〒500-0001 岐阜県岐阜市東三輪3-1-1 株式会社「へら鮎」

今年も極上揃い。

トロロは極めて繊細なエサ。だからマルキユーは徹底します。釣りエサとして優れたものだけを選び、さらに徹底した品質管理を行うことで、製口品ことのバラつきを回避。どのパッケージを選んでも、一定の使用感が得られるようこだわりました。安定した品質で、劇的な釣果を。マルキユーは、今年も極上のトロロを取り揃えました。



繊維が強く、ハリ残りの良いベース用。
●極上とろろ
分包2袋/30g×2



ネバリの強さでヌケを抑えるブレンド用。
●極上とろろハード
分包2袋/25g×2

さまざまな状況に対応するために。



基エサをつくるためのトロロエサ専用誌。
●とろろ選 250g



重さをつけるためのトロロ専用粒状スミ。
●とろろスミ 350g



セット釣り対応のくわせ用トロロエサ。
●ヒゲトロ 分包4袋/6.5g×4

マルキユー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
「E-ド」ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

マルキユーホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
<http://www.marukyu.com/> マルキユーへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!
へら鮎天国

昭和41年5月4日第3種郵便物認可
第43巻第6号(毎月1回1日発行)
平成20年6月1日発行

定価 1000円

本体九五二円





▶今月の表紙◀
field: 亀山湖 猪川
photo & layout: 本誌・里

208	206	205	200	195	160	156	152	146	140	138	134	64	63	62	61	58
釣り味	釣果予想クイズ	フィッシングレディ	北川穂積 西の交友録	戸張誠 激釣の余韻	ゲスト 大久保純一さん	春爛漫の丹生湖で竿頭を獲れ!!	小林森之 ノルマルGO!!	鬼東沼 長竿両グル	激釣テクニカルアドバイス	印籠の巨べら!!!	竹竿の似合う釣り場	精進湖(山梨県)	河北灘(石川県)	堀津かつば池(岐阜県)	高山ダム(京都府)	早川浩雄 「鉄壁・早川スタイル」
《今月のレディ》清水梨紗さん 筑波白水湖	《第16回》割烹「やまびこ」卯月の懐石		《第18回》ゲスト・石橋正人 釣り場 清和台天神釣池(兵庫県) 《番外・大型釣り場》内場ダム(香川県高松市)	《第3回》放流べら狙いの中央ロープ 三島湖		《第5回》多摩川巨鮎伝説!? (多摩川・相模川水系)		《第5回》鬼東沼 長竿両グル	《第5回》春先の両タンゴ ゲスト・福富大祐さん		《第5回》椎の木湖	本誌・伊藤洋一 山本一朗、河口正伸 後藤誠 前田誠志				《第11回》三名湖、深田両タンゴ

カラー

モノクロ

10 特集

燃える巨鮎魂 2008

20 岡田清 VS こうざき天の川公園

26 田辺哲男 VS 高滝湖

32 棚網久&中澤岳 VS 津久井湖

40 石井旭舟 VS 笹川湖

49 生井澤聡 VS 亀山湖

161	128	120	118	116	114	110	106	102	98	86	74	66
ワクワク管理釣り場情報	浜田優に挑戦! 春の底釣り大会	竹竿作者「景春」デビュー!!	野田幸手園新聞	水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト	永久釣りバカ宣言。斉藤心也	<S鮎Cafe> 西田美明	最狂へら戦士養成所 「鮎の穴」	水辺のプラネタリウム	江成公隆のトーナメント、復活への道。	ガチンコ道場	へら鮎釣り 超基本講座	乗込み特別企画 僕が巨べらを食わせるまで
	FA吉羽園			《第18回》「初心、忘れるべからず!」	《第6回》「アグラが苦手!」	《Vol.6》「咲いて、散って、また咲いた!」	《第64回》亀山湖 今年のドラマは松下にあり! 「待機組を探せ!!」	《今月の星空》「小野道風」	《Vol.72》無理!	《第31回》エサを生かすも殺すも指先次第!	《第40回》竹竿使いの超基本①	

釣り場割引クーポン券 p.163~

野田幸手園 椎の木湖 清遊湖 谷和原大沼
上尾園 F.A吉羽園 谷養魚場 将監
柳生FP 筑波白水湖 泉塚 逆井HC
友部湯崎湖 三和新池 川越FC 鳥羽井沼
大上へら池 霧の沼 小川つり堀園 府中HC
清川つくしFC 千代田湖・舟宿 千和
相模湖・釣舟 五宝亭 相模湖・釣舟 天狗岩
吉森HC 甲南へらの池 当麻池 水藻FC
朝日池 釣り堀八十八 浜野HC
精進湖・舟宿 金風荘 西湖・釣舟 白根
西湖 釣り宿 丸美 西湖・釣り宿 青木ヶ原

※石井旭舟「へらぶな浪漫街道」、中澤 岳「攻めの美学」、
棚網 久「全開MAX」、岡田 清「Deep Side Angle」、
生井澤 聡「挑戦者魂」、田辺哲男「MYへら道」は、
誌面の都合によりお休みさせて頂きます。

192 191 190 189 188 187 179 176 175 170

★へら鮎BOX
里ちゃんのイケイケ編集長雑誌
情報発信基地
ボイス
コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤亮己
コラム「上村流!」 上村 藤生
コラム「紀州 想いの竹のものがたり」 中澤伸行
プレゼント発表
広告索引
編集後記

小売店情報

STAFF

- 発行人 根本百合子
- 編集長 田中里史
- 編集部 大場勝良 諸富一秋 伊藤小百合 伊藤洋一
- へら鮎NET 根本大作 八十田昌広
- 企画 <オフィス・えぶ> 藤原 肇